

<b>講義名</b>	映画で学ぶ日常英語			
<b>担当教員</b>	氏木 孝仁			
<b>開講期・曜日・時限</b>	後期 水曜日 2時限	<b>授業形態</b>	講義	
<b>履修開始年次</b>	2年生	<b>単位数</b>	2	<b>備考</b>
<b>主題と概要</b>				
<p>本コースでは、映画「タイタニック」を用いて、リスニング力、スピーキング力、読解力、さらに文法力を向上させることを目的としています。映画で実際に使われるセリフを使用することにより、今まで知識として学んだ文法事項を、実際に会話で応用できる能力も養います。          本コースで使われるテキストは、初級者でも十分対応できるもので、「映画を使って英語学習をしたいが、映画は難しすぎてわからない」という人に受講してもらいたいコースです。</p>				
<b>到達目標</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リスニング能力を上げるため映画を通じ、英語のナチュラルスピードに慣れる。</li> <li>2. 語彙、特に会話英語で使われる口語表現を増やす。</li> <li>3. 基本的な英語能力、及び英語でのコミュニケーションに対する自信をつける。</li> <li>4. これまでに学んだ英語文法の復習をする。</li> </ol>				
<b>提出課題</b>				
オンライン、または紙ベースでの課題提出を求められます。 毎回、宿題がです。				
<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>				
各章の最後に練習問題の提出を求めます。				
<b>評価の基準</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1)出席及び授業への参加度:20%</li> <li>2)課題提出:20%</li> <li>3)クイズ:30%</li> <li>4)学期末テスト:30%</li> </ol>				
<b>履修にあたっての注意・助言他</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 5回休むと単位を取れなくなるので注意。</li> <li>2. 出された課題をしっかりとこなすこと。</li> <li>3. 授業に積極的に参加する姿勢を持つこと。</li> </ol> <p>新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの変更が生じる可能性があります。</p>				

<b>教科書</b>				
.映画『タイタニック』で学ぶ総合英語。	角山 照彦 / Simon Capper	SE181D0	税込2,530円	9784791960248
<b>プリント資料及び参考文献</b>				
必要に応じて授業中に指示します。				
<b>授業計画</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス / 自己紹介</li> <li>2. Unit 1 文法 分詞</li> <li>3. Unit 2 文法 受動態</li> <li>4. Unit 3 文法 助動詞</li> <li>5. Unit 4 文法 仮定法</li> <li>6. Unit 5 文法 進行形</li> <li>7. Unit 6 文法 関係詞</li> <li>8. Unit 7 文法 関係詞 2</li> <li>9. Unit 8 文法 完了形</li> <li>10. Unit 9 文法 分詞 2</li> <li>11. Unit 10 文法 不定形</li> <li>12. Unit 11 文法 代名詞</li> <li>13. Unit 12 文法 動名詞</li> <li>14. Unit 13 文法 不定詞</li> <li>15. Unit 14 文法 否定</li> </ol>				
<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>				
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>				
各章で取り扱った文法問題の練習（各章の最後に設けられている）を復習し、その日の課題として英訳があるので毎回、次の授業まで学習するよう心がける（所要時間4時間くらい） 次の週の小テストの準備として行う。				
<b>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連</b>				
<p>本コースでは洋画を用いることにより、日常英会話で使われる英語表現やイディオムを学び、リスニング力及び会話能力の向上を図る。また、洋画を通じて海外の経済や政治、文化や歴史を学ぶことにより国際理解を深め、卒業時に必要なグローバル社会で活躍できるコミュニケーション能力の育成につなげる。これらの能力は商学部生に求められる企業界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。</p>				
<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>				
オンラインで入手可能な情報を上手く活用することで英語の自然な表現をインプットし整合性を高める。				
<b>実務経験の有無及び活用</b>				
<p>米国滞在中にカンザス州トピカ市のJapan Animation Societyで字幕翻訳を執務。          主に『らんま1/2』などの作品を手懸ける。</p>				
<b>備考</b>				